

わかることばで わかる指導を



東京家政大学教授

熊 田 藤 作

◇わかることばで

ある幼児が幼稚園から帰宅し、「お母さん心に目はあるの？ 个性的って何？」と母親に尋ねたという。母親が事情を聞くと、その日、幼稚園で飼っている鶏を絵にかいたら、「あなたの絵は心の目で見えてかいたから、个性的ですばらしい。」と先生から言われたという。

最近教育界では、豊かな心とか、个性的とか、また感性などという言葉がよく使われている。しかし、このような言葉は、少なくとも幼稚園児や小学校低学年の児童には、そのまま使って通じる言葉ではないようである。

この場合は「Aさんは鶏さん大好きなのかな？ Aさんがかいた鶏さんはとても元気そうで、コッコ、コッコと鳴きながら歩いて来そうだね。目をみると、Aさん、私をかいてくれてありがとう、と言っているみたい。すばらしい。」とでも言うべきだったろうか。

◇やることがわかる

小学二年生の児童が、六年生を送る会で贈るプレゼント作りをやった時のことである。担任の教師が「六年生のお兄さんやお姉さんに喜んでもらえるものを、心を込めて作りましょう。」と励ましの言葉をかけたら、「どの六年生に贈るかわからないのに、心の込めようがありません。」という一人の児童の発言が切っ掛けとなり、「僕も。私も。」と声があがったという。

そこで先生は「本当にそうだね。では、僕の（私の）贈

【筆者紹介】

熊 田 藤 作 ・くまだとうさく

（略 歴）

昭和 四年 福島県石川郡玉川村生まれ

二十四年 福島県立郡山臨時教員養成所卒業

二十九年 青山学院大学文学部教育学科卒業